

2018年度認知行動カウンセリング診療統計 症例数（疾患別、性別・年代別）

■ 2018年度実績

延べ2,669件(対面式2,157件、遠隔式 512 件)の認知行動療法のセッションを行いました。
新規で121名の患者さんの診療を開始しました。

2018年度新規症例数（疾患別）

強迫症	21
パニック症	14
社交不安症	14
全般不安症	6
PTSD	3
うつ病	15
双極性障害	1
摂食障害	9
慢性疼痛	22
身体症状症	6
統合失調症	2
自閉スペクトラム症	1
嘔吐恐怖症	1
限局性恐怖症	1
不眠症	1
吃音	1
解離性障害	1
その他	2
合計	121

(症状を起因とする不登校、引きこもりも含む)

2018年度新規症例数（性別・年代別）

	男	女	合計
10代	14	8	22
20代	6	12	18
30代	14	19	33
40代	8	18	26
50代	1	6	7
60代	5	5	10
70代	1	4	5
合計	49	72	121

■ 自主臨床試験

パニック症、慢性疼痛、不登校・ひきこもりの親を対象とした、テレビ電話を用いた遠隔での認知行動療法、強迫症（子ども、成人）うつ病に対する対面式の認知行動療法、自閉スペクトラム症(ASD)を持つお子さんの親子参加式での心理教育プログラムの臨床試験を実施中です。